

# 環境変化、リスクと機会の認識

## 環境変化の認識

### 社会の変化

- 自然災害や感染症拡大への対応
- 多様性・価値観の変化、人権意識の高まり
- グローバル化のさらなる進展
- 世界人口の増加、先進国の高齢化と  
単身世帯の増加(経済パラダイムの急激な変化)
- 地球温暖化の抑制やエネルギー問題の解消

### 業界を取り巻く環境

- 新型コロナウイルスの世界的大流行による生活様式の変化(巣ごもり需要、通信の利用シーンの変化)
- 顧客ニーズの高度化・多様化
- 生産人口の減少、省力化の進展
- 技術進化・データ活用の発展、  
デジタル技術を活用したビジネスモデルの構築

## アンリツの視点

## リスクと機会

### 顧客・ ビジネス環境

- リスク** 顧客の投資抑制や投資戦略の変更による市場環境悪化  
(5G商用化鈍化の恐れ、顧客の設備投資サイクルによる業績変動)
- 機会** 新しい事業機会への進出①

### 品質

- リスク** 商品の安全性に関する問題が起きた場合の賠償費用発生、ブランドイメージの低下
- 機会** 高品質の測定ソリューションの提供による顧客満足の実現とロイヤルティの醸成②

### 競合

- リスク** 新たな技術・商品・サービスの出現、新規参入を含む競争激化などの急激な環境変化
- 機会** 新技術・新商品による需要創出・成長機会の獲得③

### 人財

- リスク** アンリツグループの持続的成長に必要な能力および多様性を持った人財の獲得困難、もしくは流出
- 機会** 従業員のスキルアップ、働き方の見直しなどによる多様な人財の獲得とイノベーション④

### 法規制

- リスク** 各地域における法規制の厳格化、法令解釈や運用方針の変更による事業活動の制限
- 機会** 各国の電波法対応による展開地域の拡大(通信計測事業)⑤  
顧客サイドのHACCP\*等食品品質関連法令への対応に即した製品・サービスの提供機会(PQA事業)⑤

### 環境

- リスク** 地球環境問題の深刻化による温室効果ガスの使用・排出規制や省エネルギー基準の強化
- 機会** 環境ビジネスへの参入(環境計測事業)⑥  
・ダム・河川のモニタリング  
・エネルギー関係(電気自動車、蓄電池の安全性の評価など)

### 調達

- リスク** サプライヤーの経営状況の悪化、自然災害や事故の発生などによる原材料・部品供給の逼迫、  
調達価格の高騰
- 機会** 新たな部材調達による競争力強化や利益拡大⑦  
・サプライチェーン(分散調達)

### M&A

- リスク** 不適切なプレミアムを支払うことによる財務的リスク
- リスク** 提携・連携・M&Aの実行後の事業環境の悪化
- リスク** デューデリジェンス不足、PMIの失敗など
- 機会** 新たな経営資源の獲得(M&Aなど)による、事業領域の拡大や事業構造の転換の加速⑧  
・EV、電池の計測

\* HACCP: Hazard Analysis and Critical Control Point 2020年6月に義務化された食品衛生管理手法

## 社内環境

- 新規参入企業など業界の構造変化
- 各国・地域における法規制の変化
- サプライチェーンの分断への対応
- FY2030の目標と新たな経営ビジョンの制定
- ガバナンスの透明性強化の要請
- 人財の多様性への対応
- 働き方改革の推進
- 必要な人財確保・育成の必要性
- 業務プロセスの効率化

## マテリアリティ



### 強固なビジネス基盤の構築

- ・適切な財務マネジメント
- ・新領域の開拓による事業ポートフォリオの最適化 [1][3][6][8]



### 顧客・パートナーとの強い信頼関係の維持・構築

- ・「はかる」ことへの真摯な対応 [2]
- ・顧客のニーズの的確な把握 [2]
- ・グローバル顧客との直接的な対応 [2]
- ・最新技術に適応したソリューションの提供 [2][3][5]



### 先端技術の獲得と活用

- ・事業ポートフォリオの最適化に寄与する新領域への活用 [1][3][6][8]
- ・社会課題を解決できる商品・サービスの開発 [3][5][6][8]
- ・次世代技術 (6G、NEMSなど) [3][8]



### 多様な人財

- ・新しい発想、イノベーションの創出 [4]
- ・幅広い優れた人的能力の獲得 [4]
- ・人種、性別、年齢等にとらわれない人財の活用 [4]



### グローバルな組織体制の構築

- ・グローバル人財を活用するマネジメント体制 [4]



### 環境配慮型ソリューションの開発

- ・環境貢献型の製品・サービス [6]
- ・環境ビジネスの立ち上げ [1][6][8]



### サステナビリティに配慮した生産体制

- ・新技術を活用した生産現場 [3]
- ・サプライチェーンの高度化 [7]